

第 155 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 26 年 3 月 11 日(火) 開催 会場: 岩崎学園(新横浜 1 号館 8 階)】

1. サイミックス株式会社 代表者 吉川 久男 氏 (<http://www.simics.co.jp/>)

【住所】 長野県茅野市ちの 3443-7 SKビル 5F

【設立】 2012年7月 【資本金】 53,400千円

【事業概要】 (1)センサー(特に赤外線センサー)などに内蔵する信号処理 IC の開発および MEMS 技術を応用したパッケージ製品の開発および製造。(2)各種センサーに「環境発電+ワイヤレス通信」技術を組合せた、バッテリーレス・ワイヤレスのセンサー製品等の開発および製造。当社はいくつかのモノづくり企業とタイアップし、量産製造までを行うファブレス企業です。

【コメント】 当社のビジネス範囲は『環境や人の行動についての情報をさりげなく、目立たなく集めること』。例えば人感センサーや温湿度センサー等、消費電力の小さいセンサーをバッテリーレス化したり、加速度センサーやジャイロセンサー等の消費電力の大きいセンサーを電池内蔵でも長期間(1年以上)交換不要に出来るそうです。今後は色々なメーカーが色々なセンサーを持ち寄ることで今までなかったセンサーユニットのビジネス構築を図りたいそうです。

2. グリッドマーク株式会社 代表者 吉田 健治 氏 (<http://www.gridmark.co.jp/>)

【住所】 東京都千代田区神田須田町 2-19 D2ビル 7F

【設立】 2004年4月 【資本金】 141,920千円

【事業概要】見えないドットコード「GridOutput」は、極小の点(ドット)で構成される新しい二次元コード技術であり、すでに世界で 209 件の特許(日本 78 件、海外 131 件)を取得した日本発の国際的特許技術である。文字・写真・イラスト等の上に、ほとんど目に見えない状態で重ねて印刷できるため、印刷物とデジタルをリンクする“インターメディア・インターフェース”として、様々な情報サービス分野で活用することができる。紙の教材をタッチするだけで簡単に対応する音声を再生する「音声ペン」として、現在、日本公文教育研究会の英語教材「E-Pencil」を始め、ECC、子ども英会話のミネルヴァなど、教育分野を中心に導入が進んでいる。また、手書き入力用の「G-Pen」はタブレット PC への手書き入力や電子黒板システムでの利用ができ、より高付加価値な市場での展開が可能である。当社ではドットコードを読み取る専用スキャナーの開発・製造・コンテンツ制作・販売を一貫して行っている。このたび音声ペンの基幹部品である高性能・低価格の新光學モジュールを自社開発したことにより、これまで価格面で参入できなかった玩具業界や、海外の既存音声ペン市場(年間 1500 万本、1200 億円市場)に対して、基幹部品の提供という形で一気に市場を獲得していく計画である。

【コメント】自分の子供時代を振り返った時にこのような教材に巡り会っていたら、苦手科目ももう少し楽しく勉強が出来たのではないかと感じてしまいました。紙をタッチするだけでデジタルコンテンツを操作出来るというのはあらゆる分野でニーズがありそうです。将来的には株式上場を目指されているとのことでした。



3. 株式会社脳機能研究所 代表者 武者 利光 氏 (東京工業大学名誉教授)

(<http://www.bfl.co.jp/main.html>)

【住所】 神奈川県横浜市鶴見区小野町 75-1 リーディングベンチャープラザ 1 号館 502 号室

【設立】 1994年3月 【資本金】 80,000千円

【事業概要】頭皮上に表れる脳電位(脳波ともいう)は脳活動情報を豊富に含んでいるので、その解析により脳活動を推定する幾つかの技術を開発し製品化している。代表的なものは以下の 3 製品である。1)DIMENSION(Diagnosis Method of Neuronal Dysfunction)頭皮上の 21 電極で記憶した電位分布の歪とその不安定性から、脳活動の不均衡性を手掛かりにして、脳活動の異常状態を数値化するもので、脳リハビリ効果の数値的な計測に用いられている。The 1st MIT Business Plan Contest in Japan 最優秀賞受賞(2001 年)、神奈川工業大賞奨励賞受賞(2001 年)、神奈川ビジネス・オーディション奨励賞受賞(2001 年)、川崎市ビジネス・アイデア市長最優秀賞受賞(2002 年)。2)ESAM(Emotion Spectrum Analysis Method)頭皮上の 10 電極で記録した電位の相関分析から、感性状態を 4 つの基本状態に分離し、その組み合わせから心の状態を推定する。各種の製品開発に用いられている。(財)機械振興協会から、中堅・中小企業新機械開発賞受賞(2000 年)。3)NAT(Neuronal Activity Topography)脳疾患診断補助情報提供システム:頭皮上の 21 電極で安静閉眼状態の脳電位を 5 分間記録し、インターネットにより解析を行い、手元のパソコンに結果を表示する医用機器。特徴は低価格、放射線被曝なし、高感度、高信頼度、簡単な操作性を特徴とする。アルツハイマー症の早期発見、脳リハビリの効果測定を可能にする。これらの技術を用いた受託解析とシステムの販売。

【コメント】 当社は今回で 3 回目の発表となります。現在、国内外で腕時計型や眼鏡型等、様々なウェアラブル機器が開発されています。既にアルゴリズムが完成しているので、スマートフォンのような手軽な物で自分の心の状態が分かるような開発を行っていきたいそうです。このようなツールがあると自分自身についての理解が深まるようになりますね。



会場風景

《感想》

今回、御発表頂いた企業はいずれも私達の生活に密接な繋がりのあるものだと感じました。

また最近では有難いことに発表を希望される企業が続々と増えてきております。基本的に発表会は先着順となっておりますので発表をご希望される方はお早めに事務局にご相談下さい。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 156 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

次回の開催は下記の日時を予定しております。

発表企業等の詳細は、後日、改めてご案内させていただきます。

開催場所が下記の会場に変更となりますのでご注意ください。

■日時:平成 26 年 4 月 8 日(火) 13:30~16:00 (発表後、交流会)

■会場:株式会社ジェイ・エム・シー 2 階会議室

横浜市港北区新横浜 2 丁目 5-5 住友不動産新横浜ビル 2F

(<http://www.jmc-rp.co.jp/company/company04.html>)

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA

TEL: 045-470-8668, FAX: 045-470-8090

(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード

TEL: 045-470-8088, FAX: 045-470-8090 井 汲